

○高梁川用水土地改良区総代選挙規程（定款附属書）

令和 2年 4月22日（制定）

（総代の被選挙権）

第1条 次に掲げる者は、総代の被選挙権を有しない。

- 一 組合員でない者
- 二 未成年者
- 三 禁錮以上の刑に処せられた者でその執行を終わるまでのもの

（選挙区等）

第2条 総代の選挙は、選挙区ごとに行うものとする。

- 2 総代の選挙区及び各選挙区において選挙すべき総代の定数は、別表のとおりとする。
- 3 選挙人の所属の選挙区は、その組合員たる資格に係る権利の目的たる土地の所在地による。この場合において、その選挙人の組合員たる資格に係る権利の目的たる土地が2以上の選挙区にあるときは、当該選挙人が指定して土地改良区に届け出た土地（当該届出がないときは、土地改良区が指定した土地）の所在地による。

（選挙の時期）

第3条 総代の任期満了による総選挙は、その任期満了の日前60日から10日までに、その他の選挙にあつては、これを行うべき事由が生じた日から30日以内に行わなければならない。

（選挙の公告）

第4条 選挙の期日は、その期日から5日前までに公告するものとする。

- 2 前項の公告には、投票開始の時刻、投票終了の時刻、各選挙区ごとに選挙する総代の数及び投票用紙に記載すべき選挙する総代の数を記載するものとする。

（選挙管理者等）

第5条 選挙管理者、投票管理者及び開票管理者は、選挙ごとに理事長が理事会の決議により、本人の承諾を得て組合員の中からそれぞれこれを指名するものとする。

- 2 前項の投票管理者及び開票管理者は、選挙区ごとに指名するものとする。
ただし、第18条第1項の規定により投票を行わない選挙区については、これらの者を指名することを要しない。
- 3 選挙管理者、投票管理者及び開票管理者は、相兼ねることができる。

（選挙管理者の職務）

第6条 選挙管理者は、選挙に関する事務を担当し、開票管理者から第8条の規定による報告を受けたときは、選挙立会人立会の上、その報告を調査し、各人の得票総数を計算し、選挙録を作つて選挙に関する次第を記載し、選挙立会人とともにこれに署名又は記名押印しなければならない。

（投票管理者の職務）

第7条 投票管理者は、投票に関する事務を担当し、投票録を作つて投票に関する次第を記載し、投票

立会人とともにこれに署名又は記名押印しなければならない。

- 2 投票管理者は、投票立会人立会の上、投票録及び投票箱を開票管理者に引き渡さなければならない。
- 3 選挙管理者が投票管理者を兼ねる場合には、投票に関する次第は、選挙録中に併せて記載することができる。

(開票管理者の職務)

第8条 開票管理者は、開票に関する事務を担当し、開票立会人立会の上、投票箱を開き、投票を点検し、開票立会人の意見を聴いて投票の効力を決定し、直ちにその結果を選挙管理者に報告するとともに、開票録を作って開票に関する次第を記載し、開票立会人とともにこれに署名又は記名押印しなければならない。

- 2 選挙管理者が開票管理者を兼ねる場合には、開票に関する次第は、選挙録中に併せて記載することができる。

(選挙録等の保存)

第9条 選挙録、投票録及び開票録は、投票と併せて、当該選挙に係る総代の在任期間中、この土地改良区において保存するものとする。

(選挙立会人等)

第10条 選挙立会人、投票立会人及び開票立会人は、選挙ごとに、理事長が理事会の決議により、本人の承諾を得て組合員の中から各2人（投票立会人及び開票立会人にあつては選挙区ごとに各2人。）を指名するものとする。ただし、第18条第1項の規定により投票を行わない選挙区については、投票立会人及び開票立会人を指名することを要しない。

- 2 選挙立会人、投票立会人及び開票立会人は、相兼ねることができる。

(投票)

第11条 投票は、選挙の当日、組合員自ら、組合員名簿との対照を経て投票用紙に総代の候補者の氏名（法人にあつては、その名称。以下同じ。）を記載し、これを投票箱に入れて行わなければならない。

- 2 投票用紙は、選挙の当日、投票所において組合員に交付する。
- 3 投票用紙に記載すべき選挙する総代の数は、1人とする。
- 4 投票開始の時刻は午前8時30分とし、投票終了の時刻は午後5時とする。
- 5 午後5時までに投票所に到着していない者は、投票することができない。

(投票の拒否)

第12条 投票の拒否は、投票立会人の意見を聴いて、投票管理者が決定するものとする。

(開票)

第13条 開票所は、この土地改良区の事務所又は開票管理者の指定する場所に設ける。

- 2 開票は、投票の当日又はその翌日に行う。

(無効投票)

第14条 次の各号に掲げる投票は、無効とする。

- 一 所定の用紙を用いないもの
- 二 総代の候補者の氏名のほか、他事を記載したもの。ただし、候補者の職業、身分、住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地。以下同じ。）又は敬称の類を記入したものは、この限りでない。
- 三 当該選挙区の総代の候補者以外の者の氏名を記載したもの

- 四 被選挙権のない者の氏名を記載したもの
- 五 総代の候補者の氏名を自書しないもの
- 六 総代の候補者の何人を記載したかを確認し難いもの
- 七 投票用紙に記載すべき数を上回る数の総代の候補者の氏名を記載したもの
- 八 当該選挙区に所属しない総代の候補者の氏名を記載したもの

(候補者の立候補等の届出)

第15条 当該選挙区の選挙権を有する組合員でなければ、当該選挙区において総代の候補者となり、又は総代の候補者を推薦することができない。

- 2 総代に立候補しようとする者は、当該選挙の期日の公告のあった日から2日間に、その旨を書面でこの土地改良区に届け出なければならない。
- 3 総代の候補者を推薦するには組合員5人以上が本人の承諾を得て、前項の期間内に、その旨を書面をもってこの土地改良区に届け出なければならない。
- 4 この土地改良区は、総代の候補者となった者の住所、氏名、所属選挙区名及び立候補又は被推薦の別並びに投票所及び開票所を選挙の期日の3日前までに公告し、かつ、選挙の当日投票所に掲示するものとする。

ただし、第18条第1項の規定により投票を行わない選挙区については、当該公告に代えて、第20条第1項の公告を行うものとする。

- 5 総代の候補者が立候補を辞退し、又は推薦の候補者でなくなった場合には、立候補し、又は推薦をした者若しくは推薦された者は、直ちにその旨を書面をもってこの土地改良区に届け出なければならない。
- 6 第4項の公告のあった日以後において前項の届出があったとき、又は総代の候補者が死亡し、若しくは第16条第2項の規定に該当するに至ったことを知ったときは、この土地改良区は、直ちにその旨を公告するものとする。

(立候補等の制限)

第16条 選挙管理者、投票管理者、開票管理者、選挙立会人、投票立会人及び開票立会人は、その関係区域内において総代の候補者となることができない。

- 2 総代の候補者が前項の規定により総代の候補者となることができない者となったときは、総代の候補者たることを辞したものとみなす。

(当選人の決定)

第17条 有効投票の最多数を得た者をもって当選人とする。ただし、選挙区ごとに、選挙すべき総代の数で有効投票の総数を除して得た数の4分の1以上の得票数がなければならない。

- 2 当選人を定めるに当たり、得票数が同じであるときは、選挙管理者が、選挙立会人立会の上、くじで定めるものとする。

(無投票の当選)

第18条 総代の候補者の数がその選挙において選挙すべき総代の数を超えないとき、又は超えなくなったときは、投票を行わない。

- 2 前項の場合においては、選挙管理者は、直ちに、当該総代の候補者をもって当選人と定めなければならない。

3 前項の場合において、当該総代の候補者の被選挙権の有無は、選挙管理者が選挙立会人の意見を聴いて決定しなければならない。

(当選人の失格)

第19条 当選人は、選挙の期日後において被選挙権を有しなくなったとき、又はその所属する選挙区を異動したときは、当選を失う。

(当選の公告)

第20条 当選人が定まったときは、選挙管理者は、直ちに当選人に当選の旨を通知し、同時に、当選人の住所、氏名及び所属選挙区名を公告しなければならない。

2 前項の通知を受けた日から7日以内に当選を辞退する旨の届出がないときは、当選人は、その当選を承諾したものとみなす。

(繰上補充)

第21条 当選人の数がその選挙において選挙すべき総代の数に達しなくなったときは、選挙管理者は、直ちに第17条の例によって、当選人を定めなければならない。

2 前項の規定により当選人が定まった場合には、前条の規定を準用する。

(当選の確定及び総代の就任)

第22条 選挙管理者は、第20条第2項（前条第2項において準用する場合を含む。）の期間満了の日の翌日、当選人の住所、氏名及び所属選挙区名を公告しなければならない。

2 当選人は、前項の公告があったとき、総代に就任するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、当選人は、現任総代の任期満了後における第23条の規定による当選、第24条の規定による当選及び第26条の規定による選挙並びに土地改良法（以下「法」という。）第23条第4項において準用する法第29条の3の規定による改選の場合を除き、公告の時が現任総代の任期満了前であるときは、その任期満了の日の翌日に就任するものとする。

(当選の取消しの場合の措置)

第23条 法第136条の規定により当選の取消しがあったときは、理事長は、直ちに第17条の例によって、当選人を定めなければならない。

2 前項の規定により当選人が定まった場合には、第19条から前条までの規定を準用する。

(再選挙)

第24条 第17条から第21条までの規定による当選人がない場合、選挙すべき総代の数に足る当選人を得ることができない場合又は法第136条の規定による選挙若しくは当選の取消しの場合（前条の規定により当選人を定めることができるときを除く。）にはその不足の員数につき、再選挙を行わなければならない。

(補欠総代の繰上補充)

第25条 選挙後1年以内に総代の欠員が生じた場合において、第17条第1項の規定の適用を受けた得票者で当選人とならなかったものがあるときは、理事長は、第17条の例によって、その者のうちから当選人を定めなければならない。

2 前項の場合には、第19条から第22条までの規定を準用する。

(補欠選挙)

第26条 選挙区ごとに定める総代の全部又は一部が欠けた場合には、前条の規定により当選人を定める

ことができるときを除き、当該選挙区ごとに、その不足の員数につき、補欠選挙を行わなければならない。ただし、欠員数が当該選挙区の定数の6分の1未満であるとき（総代の定数が2人以上6人未満である選挙区にあっては、欠員数が1人であるとき）又は総代に欠員を生じた時が総代の任期満了前6月以内であるとき（総代の数が当該土地改良区の総代の定数の3分の2に達しなくなったときを除く。）は、補欠選挙を行わないことができる。

(総選挙)

第27条 総代及びその当選人の全てがないとき又はなくなったときは、総選挙を行わなければならない。

附 則

この規程は、令和2年4月22日（認可日）から施行する。

別表（第2条）

総代 選挙区	総代数 (人)	地区	区 域
第1区	9	1	総社市の内 総社、中央2丁目、中央4丁目、総社1丁目、総社2丁目、 総社3丁目、井手、門田、駅前1丁目、井尻野、小寺、福井、 刑部
		2	総社市の内 長良、窪木、南溝手、金井戸、北溝手
		3	総社市の内 三輪、溝口、駅前2丁目、中央1丁目、中央3丁目、中央5 丁目、中央6丁目、駅南1丁目、駅南2丁目、真壁、中原
		4	総社市の内 三須、下林、上林、赤浜
第2区	2	1	総社市の内 秦、上原、富原、下原
第3区	2	1	総社市の内 西郡、地頭片山、岡谷、宿
第4区	2	1	総社市の内 清音柿木、清音軽部、清音上中島、清音三因、清音古地
第5区	8	1	倉敷市の内 真備町岡田、真備町辻田
		2	倉敷市の内 真備町川辺
		3	倉敷市の内 真備町有井、真備町市場
		4	倉敷市の内 真備町箭田
		5	倉敷市の内 真備町下二万
第6区	14	1	岡山市の内 北区三手、北区小山、北区福崎、北区高塚、北区高松田中、 北区下土田、北区門前
		2	岡山市の内 北区立田、北区高松原古才、北区高松、北区和井元
		3	岡山市の内 北区吉備津
		4	岡山市の内 北区加茂、北区惣爪、北区津寺、北区新庄上、北区新庄下
		5	岡山市の内 北区庭瀬、北区平野、北区延友、北区東花尻、北区西花尻、 北区川入、北区撫川、北区中撫川、北区納所、北区大内田
		6	岡山市の内 南区妹尾
		7	岡山市の内 南区大福、南区妹尾崎、南区古新田、南区山田
第7区	3	1	倉敷市の内 上東、下庄、西尾、日畑、矢部、山地
第8区	13	1	倉敷市の内 松島、二子、栗坂
		2	倉敷市の内 三田、生坂、西坂、青江、宮前、浜ノ茶屋、浜ノ茶屋1丁目、 浜ノ茶屋2丁目、西岡、祐安
		3	倉敷市の内 中庄、黒崎、鳥羽、徳芳
		4	倉敷市の内 五日市、中帯江、西田、早高、高須賀
		5	倉敷市の内 羽島、二日市、加須山、有城、亀山、帯高
		6	倉敷市の内 茶屋町、茶屋町早沖
第9区	2	1	都窪郡早島町の内 前瀧、早島
第10区	7	1	倉敷市の内 中央1丁目、白楽町、老松町1丁目、老松町2丁目、老松町 3丁目、老松町4丁目、老松町5丁目、田ノ上、沖、沖新町、 堀南、西中新田、笹沖、吉岡、浦田、福井、東富井、西富井、 上富井、四十瀬、安江、八王寺町、川西町、田ノ上新町

総代 選挙区	総代数 (人)	地 区	区 域
		2	倉敷市内 福田町浦田、福田町福田、福田町古新田、北畝1丁目、北畝2丁目、北畝3丁目、北畝4丁目、北畝5丁目、北畝6丁目、北畝7丁目、中畝1丁目、中畝2丁目、中畝3丁目、中畝4丁目、中畝5丁目、中畝6丁目、中畝7丁目、中畝8丁目、中畝9丁目、中畝10丁目、南畝1丁目、南畝2丁目、南畝3丁目、南畝4丁目、南畝5丁目、南畝6丁目、南畝7丁目、松江1丁目、松江2丁目、松江3丁目、松江4丁目、東塚1丁目、東塚2丁目、東塚3丁目、東塚4丁目、東塚5丁目、東塚6丁目、東塚7丁目、福田町広江、広江1丁目、広江2丁目、福田町東塚
第11区	8	1	倉敷市内 酒津、水江、中島
		2	倉敷市内 西阿知町、西阿知町西原、片島町、西阿知町新田
		3	倉敷市内 連島町連島、連島1丁目、連島2丁目、連島3丁目、連島4丁目、連島5丁目、連島町亀島新田、連島中央1丁目、連島中央2丁目、連島中央3丁目、連島中央4丁目、連島中央5丁目、亀島1丁目、亀島2丁目、神田1丁目、神田2丁目、神田3丁目、神田4丁目、連島町矢柄、連島町西之浦、連島町鶴新田
第12区	2	1	倉敷市内 船穂町船穂、船穂町水江
第13区	8	1	倉敷市内 玉島長尾、玉島爪崎、新倉敷駅前1丁目、新倉敷駅前2丁目、新倉敷駅前3丁目、新倉敷駅前4丁目、新倉敷駅前5丁目
		2	倉敷市内 玉島八島
		3	倉敷市内 玉島上成、玉島、玉島1丁目、玉島2丁目、玉島3丁目、玉島阿賀崎、玉島阿賀崎1丁目、玉島阿賀崎2丁目、玉島阿賀崎3丁目、玉島阿賀崎4丁目、玉島阿賀崎5丁目、玉島中央町1丁目、玉島中央町2丁目、玉島中央町3丁目、玉島柏島、玉島勇崎、玉島乙島
第14区	6	1	倉敷市内 東町、美和1丁目、美和2丁目、石見町、大内、川入、日吉町、北浜町、日ノ出町1丁目、日ノ出町2丁目、浜町1丁目、浜町2丁目、昭和1丁目、昭和2丁目、幸町、大島、福島、平田、阿知1丁目、阿知2丁目、阿知3丁目、寿町
		2	倉敷市内 船倉町、稲荷町、南町、中央2丁目、新田
		3	倉敷市内 黒石、八軒屋、粒浦、粒江
第15区	3	1	倉敷市内 玉島黒崎、玉島黒崎新町
		2	倉敷市内 藤戸町天城、藤戸町藤戸
第16区	9	1	岡山市の内 南区東畦、南区内尾、南区中畦、南区曾根、南区西畦
		2	岡山市の内 南区箕島
		3	岡山市の内 南区藤田
第17区	2	1	岡山市の内 南区川張、南区彦崎、南区片岡、南区宗津、南区迫川